福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

学報

2011.12.10 Vol.130

三蔵五訓

真理を探究し，道理を実践する。
豊かな品性を養い，不屈の魂を育てる。
生命を尊重し，自然を畏敬する。
個性を伸展し，紐帯性を培う。
未来を志向し，可能性に挑む。



2011年
第37回三蔵祭

第37回　三蔵祭…… 1
地域連携活動 …… 3
拡がる教育 …… 6
キャリア教育 …… 7
研究の今…… 8
学内トピックス …… 9
国際交流瓦版 ……11
インフォメーション ……10
学友会短信 ……12
全国大会出場 ……13
入試広報室から ……15
後援会情報 ……15
訃報 ……15

Japan University Accreditation Association since 1947
ACCREDITED
2007.4～2014.3

第37回 三蔵祭

三蔵祭を終えて



今年で37回目を迎えた三蔵祭は「歩(あゆみ)～踏み出すとき～」というテーマを掲げ，三蔵祭運営委員一同は皆様に楽しんでいただけるよう全力を尽くしました。

今年の三蔵祭は，立ち止まらずにどんどんチャレンジしていこうという気持ちを込めて活動してきました。テーマ企画として行った新企画「歩いてみん祭～福山大学クイズ&スタンプラリー～」では，多くのお客様に参加していただき，福山大学の隅々まで知っていただいたことでしょう。また，特別企画では，『南波志帆』『MAY'S DJ NAUGHTY BO-Z』『CLIFF EDGE』『KG』『FALCO&SHINO』『安田奈央』といった過去最多人数のアーティストによるライブを行い，更に盛り上げることができました。

三蔵祭2日目は時々小雨の天候にもかかわらず，学内外の多くの方々に来場していただき，メインステージでのライブは大いに盛り上がり，皆様の満足された様子を見ることができ，三蔵祭運営委員一同最高の三蔵祭になったことを大変嬉しく思っています。

三蔵祭運営委員をはじめ三蔵祭に携わった学生みんなが，それぞれに踏み出す力を身につけ大きく成長できたと思います。学内外の協力者やご来場いただいた方々に心からお礼申し上げます。来年も今年以上に歩を踏み出した三蔵祭になるよう三蔵祭運営委員を中心にサークルや学部学科学生とも協力して更に努力していこうと思います。本当にありがとうございました。

第37回三蔵祭運営委員会　委員長
経済学部　経済学科
3年　有木　圭吾

経済学部　My country Kenya

今年の三蔵祭では経済学部は「留学生による出身国紹介と民族音楽パフォーマンス」をテーマに，パネル展示とプレゼンテーションを行うことになりました。経済学部に所属している学生の出身地のうち，今回は中国の福建省，貴州省，内モンゴル自治区とケニアを紹介することになりました。私はケニアのパネル制作の責任者と10月23日(日)のプレゼンテーションとドラム演奏のパフォーマンスを担当することになり，準備はとても忙しかったです。

ゼミの日本人学生の友達と相談して，ケニアの概要，ケニアの経済，ケニア人の暮らしを主なテーマにしてパネルを作成しました。日本人の友達は日本人が興味を持ちそうな，ケニアの紅茶チャイやサファリ，フォートジーザスやモンバサといった有名な観光地について調べてパネルを作成しました。皆で協力した結果，ケニアだけでパネル15枚にもなり，満足できる発表になったと思います。



パネル展示の部屋では，中国茶と中国のお菓子のサービスもあって，たくさんの人が見に来られました。プレゼンテーションの当日は年配の方から子どもまで多くの人が聞きに来てくださいました。琵琶，馬頭琴，そして私のドラム演奏を楽しんでもらえたと思います。

ケニアは日本から遠く離れていますが，多くの人が関心を持ってくれてうれしかったです。パネルの制作過程では，日本人の友達と色々意見を交わしながら，ともにひとつの作品を仕上げるという貴重な経験をすることもできました。「My country Kenya」大学内外の多くの人に私の国ケニアに興味を持っていただくことができた私の三蔵祭は大成功でした。

国際経済学科
3年　ムドニ・エリック・ムネネ

人間文化学部　『千と千尋の神隠し』をすごろくで体験!

人間文化学科では「千と千尋の解き明かし」というテーマでイベントを企画しました。これは，宮崎駿監督の映画『千と千尋の神隠し』を題材にして，映画を見る際に浮かんでくる大小さまざまな疑問について幅広く考え，この映画の楽しさ，深さを多くの方々に知ってもらおう！という主旨から始まった企画です。

形式としては，すごろくを用いた自由参加型のイベントにしました。すごろくは映画のストーリーに沿って展開され，そのマスの合間ごとに問題が出題されるといったかたちです。1日目は，学生スタッフ全員が着物を着用するもの珍しさからか，次から次へとお客さんが来場され，たちまち大盛況となりました。お子さん連れのお客さんも来られ，親子仲むつまじくすごろくに参加される姿もあり，会場はほのぼのとした雰囲気に包まれました。会場にはスタッフが製作した作品登場キャラクターの模型等も展示され，子どもたちを中心に多くの興味を引いていました。また，すごろくで見事ゴールされた方にはスタッフが製作したオリジナルの栞が贈呈され，午後からはその栞をもらうことを目的に参加されるお客さんの姿もみられました。1日目の総来場者数は100人近くにまで達し，大盛況となりました。2日目は午後から「千と千尋の神隠し」に関する問題を出題する早押しクイズが行われました。子どもから年配の方まで幅広い年代の方が参加し，会場は大いに盛り上がりました。「すごろくをしてわ



かったことがあった」「もう一度しっかり作品を見てみたい」などといった感想もいただき，1日目同様2日目も大成功のうちに終了致しました。

この企画を通して，多くの笑顔をお客さんから頂き，逆にスタッフからお客さんにも笑顔をお届けできたと思います。地域の方々との「交流」を大切にする人間文化学科らしい素晴らしい企画であったとスタッフ一同自負しております。

人間文化学科　3年　坪井　久尚

工学部　諦めないことは一生の財産

私は，情報工学科としてやきとりとフランクフルトを販売しました。そのやきとりとフランクフルトを仕入れるときに，メンバーの一人が驚くべき提案をしました。それは，やきとり800本，フランクフルト350本を販売しようというのです。最初，それを聞いた時，私は，「そんな莫大な数が売れるはずがない。赤字になったらどうするんだ」と冷静に考えるよう説得しましたが，彼は「売れないと思うから売れないんだ。やろうと思えばできる。」と強く主張し，結局，その方針で当日を迎えることになりました。

本番当日。私たちは2年生6人と3年生4人で販売しました。目標はとにかく全部売り切ること。私たちは，その目標に向かって，それぞれの役割を考え，一致団結して販売しました。天気は1日目，雨も降ったりして，なかなか思うように売れませんでした。しかし，2日目は，やきとりを10本パックで販売するなど工夫を凝らし，最後まで諦めずに行いました。最終的に，私たちの努力と結束力で見事，完売することができました。

そして，今回の三蔵祭の経験から2つの事を学ぶことができました。一つはそれぞれの役割を考え，協力することの大切さ。二つ目は，最後まで諦めないチャレンジ精神です。私は，今まで無理だと思うことは無理だ，と諦めて努力しませんでした。しかし，今回の三蔵祭で，困った時には協力し助け合い，みんなで一つの目標に向かって最後まで諦めないことの大切さを知りました。この経験は，これから始まる就職活動だけでなく，一生の財産として大切にしていきたいと思います。



情報工学科　3年　片山　剛士

生命工学部　バイオ・いきもの・科学を楽しもう!!

生物工学科では生命工学研究会を中心に学科展示を行いました。今年は人工イクラ，スライム作り，紫キャベツの色変化，空気砲，不思議な手袋，ガラス細工といった体験型コーナーと，福山大学の自然展，実験生物大集合，巨大かぼちゃなど，実習等の成果を展示したコーナー，そしてぜんざい，お茶，コーヒーを無料で楽しめる喫茶コーナーを用意しました。一般の皆様に科学をより身近に感じてもらおうと思い，子どもも大人も楽しめる体験型実験に力を入れました。



1年生にとっては初めての大学祭でしたが，皆しっかり者でお互いに協力し合い，スライム作り，空気砲，不思議な手袋など面白い企画を考えてくれました。また今年も全ての催しを生物工学科全員で実行しました。特に3年生は生命工学研究会と普段関わりのない学生も準備から後片付けまで協力的で大変助かりました。中には休みなく1日中手伝ってくれた人もいました。そしてガラス細工コーナーでは先生やOBの方の手伝いもあり，まさに総出の催しでした。そうした一体感も楽しむことができたと思います。

今年は来客者総数が1,384名と昨年よりも多くのお客様にお越しいただき大変嬉しく思っています。帰り際にはアロマキャンドルや植物の苗をプレゼントさせていただき，喜んで帰って頂けたものと考えています。最後の「ゴールデンハムスターに触ろう」のコーナーでは特に子供たちに大人気でした。今年は部長としての責任を感じておりましたが，皆さんの支えがあり無事に成功裡に終えることができました。生物工学科の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

生命工学研究会　部長
生物工学科　3年　中島　亜美

薬学部　人と人とのつながりの大切さ

薬学部では運営班，化学班，薬理班，薬局班，音楽班の5つの班で10号館等を使ってさまざまな催し物をしました。

簡単に各班の催し物を紹介すると，1階の実習室では薬理班が「ハムスター等の展示」，化学班が「射的」や「スライム作り」をしました。2階の実習室では運営班が「体力測定」，「うぐいすパウダーの体験」，「紫雲膏」「ガラガラくじ」，モデル薬局では「肩こりの薬や消臭剤の配布」音楽班では「ライブ」また10号館前ではナンカレーを販売しました。

化学班のスライムの体験コーナーや薬理班のハムスターが触れるコーナーは，大人の方だけでなく子ども達も楽しめてとても盛り上がっていました。

今年も幅広い世代に楽しんでいただくことができたと思います。

音楽班のライブでは，雨が降って会場が変更になったにもかかわらず多くの方に来ていただきました。

薬局班では，学生薬局としてハンドクリーム，リップクリーム，カタコリーナ，ミズムシーナ，入浴剤，消臭剤をつくり，来てくれたお客さん達に配りました。2日間とも午前中にほとんどの種類が全てなくなるという盛り上がりでした。3年生が行った研究課題の発表もお客さん達が立ち止って聞いてくれて詳しく調べて発表した甲斐があったと実感できました。

運営班では紫雲膏と尿素軟膏を1日各150個用意したのが半日で無くなったり，うぐいすパウダーのサンプルが足りなくなったりと大盛況でした。

ナンカレーは1日目天気が悪かったこともありなかなか思ったように売れませんでした。

2日目は呼びかけ等をいろいろと工夫して，完売することができました。

準備期間は大変でしたが，三蔵祭という大きな行事を終え，人と人とのつながりの大切さを学ぶことができ，いい経験になりました。

最後に，忙しい中手伝ってもらった先輩や，班に入っていない学生の手助けがなければ無事に三蔵祭を終えることができませんでした。本当にありがとうございました。

薬学科　3年　小山　勝真



地域連携活動

じばさんフェア2011



じばさんフェア2011で福山大学をアピール

福山大学と福山平成大学の後援した「じばさんフェア2011」(主催:備後地域地場産業振興センター)が,11/19(土),20(日)の2日間に渡って,広島県立ふくやま産業交流館(ビッグローズ)で開催されました。備後地域の企業展示,研究機関の展示,地場産品や飲食の販売など72件の出展があり,雨模様でしたが,2日間で8500名の一般の来場者がありました。

オープニングでは,松田学長がテープカットに参加しました。福山大学は14ブース,福山平成大学は5ブースの出展を行い,一般の方に両大学の教育研究内容をよく理解していただけるよう努力しました。また,福山大学の三蔵太鼓と吹奏楽はステージで演奏し,会場を盛り上げました。



生命工学部のブースでは,海洋生物科学科の水槽のタツノオトシゴに気がついた人がその可愛さに夢中のようでした。生物工学科はインクの色の成分を濾紙の上で展開(分離)してブックエンドのしおりにして人の目を引き,球根の配布は観客の手をつかんだようです。生命栄養科学科の骨密度測定には行列が絶えませんでしたが,200名を測定するのが精一杯でした。グリーンサイエンスセンターの展示はその行列の人の目を引きました。



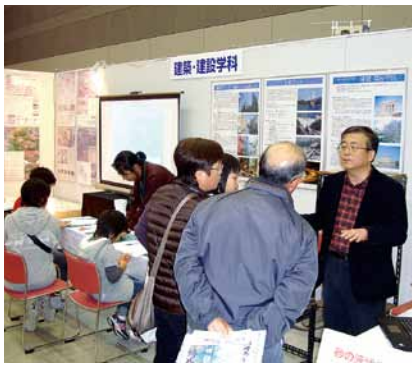
薬学部は,福山市薬剤師会と協力し,ブラウンバック運動などのお薬相談,血流測定や体組成測定などを行い,こちらも大忙しで対応していました。



工学部の電子・ロボット工学科では,ロボットを操作する楽しみを提供しながら,レスキューロボットなどテクノロジーや学術への興味を惹いていました。



建築・建設学科では,地震のときの液状化現象のモデル実験や折り紙ランプシェードの作成,近隣の土砂災害危険箇所や建築設計模型の展示をうまくデザインされたブースのなかで行っていました。



情報工学科は,学科の「プログラミング道場」で学生がプログラミングした「拡張現実世界(webカメラで撮影した景色に実際は存在しない3次元CGを合成表示した世界)」を学生がオペレートして来場者に体験してもらっていました。機械システム工学科では,学生が実習で製作した電気自動車の展示と設計教育についての紹介を行うと同時に,「モノづくり体験教室」(模型自動車の制作など)を催していました。

人間文化学部の人間文化学科では,学生の研修旅行の成果をパネル形式の問題にして,来場者に解いてもらっていました。心理学科は,青色・白色複合LEDの防犯灯の体験ルームを設置して産業界に役立つ心理学を強調していました。メディア情報文化学科では,プロ用のビデオカメラを展示するとともに,学生が制作し,高い評価を得ている公共広告CMの上映を行なっていました。



経済学部,社会連携センター,グリーンサイエンスセンターは,パネルと本などの展示を行いました。

今回は,会場の技術シーズのパネル展(全17件中,福山大学9件,福山平成大学4件展示)のブースに,福山大学の構造・材料開発研究センター,電子・ロボット工学科,情報工学科,心理学科による防災プロジェクトの完結年の特設講演会場を併設して4回の講演を行いました。



大学の航空写真は,やはり人の目を引き,その横で入試広報室と就職課は問い合わせ窓口を開いていました。

今年も参加型の展示に,その内容に応じた年齢層の方が集中していました。福山大学の各ブースでは,半日単位で延べ97名の学生と175名の教職員が,社会連携として一所懸命努めました。

社会連携センター産学連携部長
生命栄養科学科　教授　山本　英二

福山大学発！リレー講座開講中

福山大学社会連携センターでは，一昨年の6月から毎月1回のペースで「福山大学発! リレー講座」−これからの時代を生きるために−を社会連携研究推進センター（宮地茂記念館）で開催しています。本学が持つ研究成果を地域へ還元し，また地域の人材育成に貢献するこが開講の趣旨です。

本リレー講座は，政治・経済・社会，健康・スポーツ・文化，ものづくりなど，市民の関心が高く，タイムリー性の強いテーマを選ぶこととしています。例えば，6月には，JFEの瀬戸内海ゴルフ倶楽部でこの月の23日から26日にかけて開催されたミズノオープンの3日前の20日に，ゴルフをテーマにした講座を開講しましたし，8月には民主党の党首選挙のまさにその29日に，政治展望をテーマとする講座を開催しました。

各回の参加者数は多いもので80名ほど，少ないもので40名ほどとばらつきがありますが，分野による関心のあるこの地域の人数の違いを反映しているものと思います。8月の田中秀征先生の講座は，150名ほどと特別な参加者を数えましたが，これは開催時期が大きく関係していると考えられます。

伝統のある公開講座と違い，まだ歴史の浅い本講座ですが，定着しそうな状況になってきました。公開講座が高齢者等が多く，全回を通しで聴講する参加者が多いのに対し，本講座はもっと若い人たちが，それぞれの関心のあるものだけを聴講するというように，両講座で参加者の属性に大きな違いがあるように感じます。今後もそれぞれの役割を深めていければいいと思います。

さて，今年度は4月～11月まで既に8回の講座を開講しました。各回ごとのテーマと講師は次の通りです。今年度は姉妹校・福山平成大学に2回担当して頂いています。



第1回（4月）「金融危機後の世界経済」
経済学部　教授　冨士彰夫
第2回（5月）「パソコンで学ぶ
いろいろな分析手法の話」
福山平成大学経営学部　教授　福井正康
第3回（6月）「ゴルフの楽しさと
障害スポーツ適性」
福山平成大学福祉健康学部　教授　片山健二
第4回（7月）「発達障害かもしれない」
人間文化学部　教授　堤　俊彦
第5回（8月）「今後の政治の展望」
経済学部　客員教授　田中秀征
第6回（9月）「そのとき，あなたの家は
大丈夫でしょうか」
工学部　客員教授　南宏一
第7回（10月）「イモの調理を科学する」
生命工学部　教授　渕上倫子
第8回（11月）「ゲノムと病気」
薬学部　教授　松井隆司

なお，今後の予定は，12月20日には経済学部馬成三教授「日中経済関係の緊密化」です。その後1月27日は人間文化学部西田正教授，2月は工学部，3月は生命工学部から講座の予定です（詳細未定）。一般市民を対象にしていますが，本学教職員・学生の参加を受け入れる余裕もあります。皆様のご来場もお待ちしています。

社会連携センター　知財・地域連携部長
国際経済学科　教授　井上　矩之

2011年度福山大学公開講座終了

福山大学と三原市中央公民館中講堂の2会場で，9月から10月にかけて「自然災害と人間」という統一テーマで実施しました。さる3月に発生した東日本大震災は，大津波や原発事故を併発，未曾有の大被害をもたらしました。この機会に，災害のメカニズム，災害発生時の人間の行動や救済活動の様子，被災者の生活を守る制度，新しいエネルギーなどのお話しをしました。各回ごとのテーマ，講師は次の通りです。

第1回「いまそこにある危険−土砂災害−」
工学部　教授　西原　晃
第2回「災害時のおくすりと薬剤師」
薬学部　客員教授　村上信行
第3回「自然災害とメディアーラジオ
からツィッターまで−」
人間文化学部　講師　飯田　豊
第4回「災害と家計」
経済学部　准教授　小林正和
第5回「バイオマスエネルギーについて
考える」
生命工学部　教授　秦野琢之

閉講式において，5回中4回以上の出席者に，修了証書を授与しました。会場ごとの申込者数，受講者数，修了者数は次の通りです。最近3年間の1講座平均の受講者数は福山会場100～110人，三原会場50～60人でほとんど年変化はありません。また年齢構成では60歳以上が70～80%，職業別では主婦と無職が60～70%と大部分を占めています。

会場	申込者	受講者	修了者
福山	166	152	83
三原	75	71	48

社会連携センター　知財・地域連携部長
国際経済学科　教授　井上　矩之

備後経済論

備後地方の製造業には，多くのオンリーワン・ナンバーワン企業があります。しかも中小企業から大企業までさまざまな規模，業種で構成され一大集積地となっています。

経済学部では，地域とのかかわりを一層深めることから，毎年後期の授業で「備後経済論」を開講しています。講義は，地元企業の経営者を講師に招き，経営理念や企業の立ち上げ話，若い世代へのメッセージなどを語っていただき，毎回約300人の学生たちが受講する人気の授業となっています。

講義では，経営者自らの体験を通して，時代の先を読む，多くの失敗から学ぶ，大きな目標を立てる，真の友人をつくるなど，一般の授業では学ぶことのできない貴重な生の声を聞くことができます。このため学生たちには，地元の経済に理解を深めるだけでなく，将来の生き方にも大変役立つ授業となっています。

今年度の講師は，㈱八天堂，（有）アグリインダストリーをはじめ製造業，卸・小売業，サービス業者など多彩な経営者を予定しています。「備後経済論」は，今年度で8回目となりましたが，相変わらず毎回20～30人の社会人が聴講（無料）され，地域にすっかり定着した授業となっています。また9月には「平成22年度備後経済論講義録」を刊行しました。お願いした経営者をはじめ，近隣の高等学校や市立図書館などへ配布して，高校生の進路指導や関心ある人たちに大変喜ばれています。

経済学科　教授　平田　宏二

やって納得！ー「楽しいバイオ実験」今年も開催

平成23年7月30日(土)午後,今や恒例となった第11回「楽しいバイオ実験」が開催されました。生命工学部と福山バイオビジネス交流会とが共催する「生命工学公開授業・実験の部」として,毎年この時期に開いてきました。多くの参加者並びにスタッフ・協力者の方々に感謝申し上げます。

今回,4歳から70数歳までの参加者約200名は,生命工学部3学科の実験・実習室に分かれ,「花色の七変化」「美味しい米粉パンつくり」「海草の押し葉作り」などの実験に取り組みました(計10テーマ)。親子で参加した小学生たちは,最初の緊張もすぐにほぐれ,だんだんと目を輝かせ,また歓声を上げながら,「実験」を大いに楽しんでくれました。この活動を通じて子どもも大人も共に科学心が芽生え,理科好き少年少女を育てる地域作りにつながればと願っています。

なお本年も,昨年同様,マツダ財団および科学技術振興機構(JST)より補助を受けて実施しました。

生物工学科　教授　秦野　琢之



美味しい米粉パンつくり



花色の七変化



海藻の押し葉作り

宮通りでファッションショーを企画して



平成23年10月10日午後,福山市内宮通りで,福山大学学生と宮通り商店会が協力して福山市初の野外ファッションショーが行われました。これは,10月9日・10日2日間で開催された「ふくやまアートウオーク2011」「福山グルメフェスタ2011」という大きなイベントの一環でもありました。市民の,市民による,市民のためのファッションショーの試みは,広島市における「広島まちなかコレクション」が発祥です。

今回これを福山市でもやろうと企画を立ち上げたのは,人間文化学科4年の今川未由希さんとその仲間たちです。そもそもこの話が始まったのは,メディア情報文化学科の飯田先生の授業で「広島まちなかコレクション」代表の山下ミカ(lim代表)さんを紹介されたことからでした。福山でもやってみてはと提案を受けた今川さんは,宮通り商店会代表の前田美都子さんに話をもちかけました。商店街の活性化に力を注ぐ同会はすぐ全面的な賛同を表明,イベントが立ちあがることになりました。人間文化学科では,文化を学び,文化を活かして地域活性化に貢献することを教育目標にしています。本学人間文化学部が後援するとともに,宮通り商店会を中心とする地域の方々の協力の下に,イベントの準備は粛々と進みました。

モデルは,本学学生(人間文化学科,心理学科,薬学部)を中心に,高校生から主婦の方まで50人余りが呼びかけに応えて集まりました。みんなショーは初めてなので,ポルトガル人マウロ・ゴメスの指導でモデルウオーキングを学び,当日はすばらしいショーを見せました。宮通りのシンボルである鳥居をくぐり,備後絣の着物を先頭に,次々に披露される高級婦人服,紳士服42点。商店街を中心としたショップから借りたカジュアルからロマンティックまで様々な衣装に,集まった人々の目は釘付けになりました。

今川さんは,イベントの企画書に,大学生を中心に若年利用者数の減少が進み,空洞化が目立つ駅周辺の状況を活性化したいと書いています。イベントの名称は「宮通華歩」,キャッチコピーは,「見たことある通りで見る,見たことのないファッションショー」です。来年度も続くことを願います。

人間文化学科　教授　青木　美保



拡がる教育

スピーチコンテスト



スピーチコンテスト表彰式後の記念撮影（福山大学1号館にて，撮影:西尾教授）

2011年度広島県東部高校生英語スピーチコンテストは，平成23年10月22日（土），カリフォルニア大学リバーサイド校（UCR），福山市教育委員会，尾道市教育委員会，府中市教育委員会，竹原市教育委員会，ふくやま国際交流協会，福山大学留学生教育振興協会の後援と，福山商工会議所，福山松永ライオンズクラブ，松永ロータリークラブの協賛を得て，福山大学1号館大講義室にて開催されました。県東部地区の6校より8名の高校生が参加し，「私の主張」，「夢」，「私の大切なもの」などのテーマに添って，日頃の英語力を競い合いました。今回で9回を迎えましたが，いつもながら高校生諸子の英語弁論力には目を見張るものがあります。外部の有識者を含む6名の委員による審査の結果，大賞には福山暁の星女子高等学校2年生の田上実希さんが選ばれ，賞状，トロフィー，UCRからの1ヶ月間の研修コースへの留学奨学金ならびに福山松永ライオンズクラブからの渡航費の一部が授与されました。以下，準大賞（副賞として福山商工会会頭賞）には広島県誠之館高等学校2年生の神古万葉さん，優秀賞（副賞として松永ロータリークラブ賞）には福山暁の星女子高等学校2年生の藤井悠子さんが選ばれました。なお，本年度は福山大学留学生教育振興協会より奨励賞が広島県立神辺旭高等学校2年生の小川耕平君と小林桃子さん，盈進高等学校1年生の高橋優香さん，如水館高等学校2年生の高橋絵里さん，近畿大学附属福山高等学校1年生の坂本敬哉君に贈られました。

翌23日（日）には，本学留学生を対象とした日本語の部と全学生対象の英語の部からなる三蔵祭スピーチコンテストが開催されました。この学内スピーチコンテストは18回目で，9名（日本語の部6名，英語の部3名）の学生諸子が熱弁をふるい，聴衆に深い感銘を与えました。日本語の部では，経済学部の李氷さん（最優秀賞），人間文化学部の陳宇星さん（優秀賞），経済学部の張煜彧さん（奨励賞），英語の部では，経済学部の江珊さん（最優秀賞），李氷さん（優秀賞），黄一丁さん（奨励賞）がそれぞれ各賞を受賞しました。各受賞者には賞状とトロフィーならびに副賞が，また参加者全員には参加賞がそれぞれ授与されました。なお，本スピーチコンテストの実施に際しましては福山大学留学生教育振興協会の後援を賜りました。

最後にスピーチコンテストへの参加諸子を讃えるとともに，開催にあたりご尽力ならびにご援助を賜りました皆様に感謝を申し上げます。

国際センター国際交流部長
薬学部　教授　田中　哲郎

第6回 高校生CMコンテスト2011



メディア情報文化学科では，恒例の「高校生CMコンテスト」を開催しました。このコンテストは，映像メディアに対する高校生の豊かな感性を開花させ，その才能を支援することを目的としています。

全国の高校生を対象に，「あなたの『まち』を，全国にアピールしよう!」というテーマで作品を募集したところ，「映像作品の部」に91作品，絵コンテに企画をまとめる「企画コンテの部」に142作品，地域の魅力を短いフレーズに凝縮する「広告コピーの部」に34作品の応募が集まりました。

今年はアートディレクターの馬場マコト氏と（株）サン・アド顧問でCMプロデューサーの藤森益弘客員教授を審査員に迎え，厳正な審査の結果，次の受賞作が選ばれました。

「映像作品の部」グランプリは，兵庫県立高砂高等学校の大村直斗さん，瀧本庸平さん，角和正さんによる「受験にカツメシ」（加古川市）。「広告コピーの部」グランプリは，岡山龍谷高等学校の小林侑太さんによる「希望を無くさなかった街」（福山市）。「企画コンテの部」グランプリは，大阪市立扇町総合高等学校の森下梓さんによる「北から南の空気を感じて」（日本）でした。

10月23日，三蔵祭開催中の福山大学で表彰式をおこない，藤森教授から作品講評があり，受賞者に賞状，トロフィーと副賞を授与しました。

受賞作品の詳細はウェブサイトをご覧下さい。

http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/media/cm/

メディア情報文化学科
講師　杉本　達應

第10回 ロボットコンテスト





今年で10回目となるロボットコンテストは，記念大会とし中学校ロボットコンテストと同会場で実施しました。競技は第1回大会で実施した障害を乗り越えてゴールするまでの時間を競う障害物競争を実施しました。種目もリモコン型と自律型の2部門で行いました。

リモコン型部門へは6チーム，自律型部門には3チームの参加がありました。参加人数も66名と多くの中学生，高校生の参加がありました。

リモコン型部門に優勝したのは英数学館中学校科学技術部で，自律型部門で優勝したのは福山市立済美中学校科学技術部でした。

機械システム工学科
講師　小林　正明

キャリア教育

第35回 福山大学薬学部卒後教育研修会

本研修会が，平成23年10月1日(土)本学薬学部34号館において開催されました。今回から年1回の開催になり，講演と参加型演習を第一部・第二部に分けて実施する研修会となりました。第一部の演題テーマは「東日本大震災における災害時医療について」で，3名の先生を招いてお話を伺い，参加薬剤師は94名でした。講演1は「東日本大震災：災害医療と原子力発電所事故」について広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授　谷川攻一先生によるお話を伺いました。3.11の東日本大震災は，大地震と巨大津波による被害及び福島第一原子力発電所の事故を特徴とした複合型災害で，先生を中心としたチームは災害派遣医療チーム(DMAT)として福島原発付近へ赴き，主に放射線被曝治療としての任務をされた際の福島での緊急被爆医療体制の内容と事故後の教訓と課題についてご講演いただきました。講演2は「災害時に薬剤師の果たせる役割：阪神淡路大震災と東日本大震災での薬剤師会と薬剤師の果たした役割」について本学薬学部客員教授　村上信行先生によるお話しで，阪神・淡路と東日本の大震災に薬剤師会から出務をし，2つの大震災での薬剤師の活動について比較説明されました。講演3の「災害時に薬剤師の果たせる役割：JMATに参加して」についてでは，中国中央病院薬剤部　妹尾啓司先生による，震災から1ヵ月後，広島県JMATの一員として宮城県石巻市の救護所で薬剤師として支援活動に従事された際の，医薬品の在庫管理や服薬指導を中心に具体的事例をふまえて震災時の薬剤師の役割について説明されました。第二部は，高機能患者シミュレーターを使った演習を，本学部の3名の教員(西尾先生，土谷先生，上敷領先生)によって行いました。アナフィラキシーショックモデルを用いて，初期症状から重篤症状への移行，またアドレナリン投与による回復を体験し，各状態のバイタルサインを確認することを体験していただきました。

最後に，自己研鑽される薬剤師の方には意義のある研修会であったと感じました。

撮影：(土谷大樹助教)

薬学部卒後教育委員

薬学科　教授　町支　臣成



平成23年度　心理学科附属こころの健康相談室研修会

地域の心の健康増進を目的に，平成23年12月17日(土)13：00 ～ 15：45，社会連携研究推進センターにて，福山大学心理学科附属こころの健康相談室の研修会を実施いたします。



今回のテーマは，「子どもの学びを支える―理論と実践―(子どもの「わからない…」にどう応えますか?)」で，広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター教授　岡　直樹先生を講師にお招きし，子どもの学びを理解し，支援するための認知心理学的・教育心理学的な枠組みと，それを生かした実践についてご紹介頂きます。

「第1部　理論編」，「第2部　実践編」の2部構成となっており，「第1部　理論編」においては，学びのつまずきの背景を理解するための心理的な枠組みの紹介，およびそうした枠組みを利用して，適切な支援を行うための有効な手がかりを探る方法について解説して頂きます。「第2部　実践編」においては，そうした知見をベースとして行われている，子どもの学び支援の実践事例を紹介し，上手な支援のためのヒントを提供して頂きます。

特別支援教育の施行とともに，子どもたちの持つ課題に応じた支援を行うことの必要性が広く再認識されています。子どもの誤りには，有効な支援のためのたくさんのヒントが含まれています。それを適切に読み解くための有効なツールを手にすることにより，明日からの学びの支援がよりブラッシュアップされたものになるはずです。

本研修会の対象は，保護者，教員，その他子どもの学びに関わる方を中心に，どなたでもご参加頂けます(入場料無料です)。ぜひ，お誘いあわせの上，ご来場下さい。

お問い合わせ先は，福山大学心理学属こころの健康相談室(TEL 084-936-2112-内線3428，月・水・金曜日9：00 ～ 17：00，祝祭日は除く)となります。

※事前のお申し込みは不要ですので，直接会場までお越しください。

心理学科　准教授　三宅　幹子

研究の今

ストラテジー・プルーフ

経済学部

私の専門のゲーム理論には制度設計について考える分野があり，その分野のキーワードの一つに耐戦略性(strategy-proofnes)というものがあります。経済学部ではそろそろ2年生が3年以降に参加するゼミを選択する時期なので，ゼミ選択終盤の一幕のフィクションで耐戦略性について考えてみましょう。

2人の学生(トムとジェリー)が2つのゼミ(AとB)の選択を考えています。どちらのゼミも定員まであと1人です。トムはAに，ジェリーはBに行きたいと考えています。ゼミ側は，学生のA分野とB分野の成績を考慮して，Aはジェリーに，Bはトムに来てもらった方が良いと考えています。学生側とゼミ側の希望にすれ違いがあるわけです。ところでゼミ側は，両者共に優秀な学生なので，参加しないより参加してもらった方が良いとも思っています。

学生は自分の関心にしたがってゼミ参加の申し込みをします。トムはAに，ジェリーはBに申し込みます。通常ならばこれで定員が埋まりゼミ選択は終了しますが，Aは以下のような戦略をとることにしました。トムも優秀なので本当は参加してもらった方が良いけれど，嘘をついて，厳しい成績基準を設けて，トムがAゼミに参加できないようにしたのです。困ったトムはジェリーと共にBに申し込みました。Bはトムに来てもらいたいと考えていましたから，最後の枠をトムに決定します。今度困ったのはジェリーです。ジェリーは定員に空きがあるAに申し込みに行きました。そしてAはジェリーに参加してもらうことにしました。結果，Aは嘘をつくことによって，来てほしい学生の獲得に成功したのです。



正直者が得をする(?)

このように，嘘をつくことで自分に有利な結果を導くことができる状況を，戦略的操作可能と呼びます。そして，耐戦略性とは，戦略的操作可能でない，つまり嘘をついても自分に有利な結果を導くことができないということです。言い換えれば，耐戦略性とは，正直に行動すれば損をしないということです。

違う例を考えてみましょう。バナナの叩き売りのような値下げをする売り方は耐戦略的でしょうか。ある買い手はバナナに300円支払っても良いと思っているとします。値下げが始まり，300円より低い価格でバナナを買うことができれば，この買い手は300円からの値下げ分だけ得をしたことになります。正直にバナナの評価額300円を伝えずに，嘘をついて低い金額で購入すれば得をする可能性があるということです。よって叩き売りは耐戦略的な売り方ではありません。正直に300円で買うと相対的に損をしたと感じます。また，値下げの途中で他の人が買ってしまったら，バナナをより高く評価していた人が買えず，売り手も，もっと高く売れたはずなのに安く売るという，売り手にも買い手にも悲しい結果が起こることもあります。ところで，同じように考えて，多くの学生が勉強しないならば，成績評価の基準をそれに合わせて下げていく制度は，耐戦略的でしょうか。

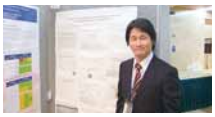
耐戦略性は制度の狙いを実現するのに重要な性質です。しかし，耐戦略性を維持しながら色々とうまくいく制度を考えるのは容易でないこともまた，ゲーム理論でよく知られていることです。世の中，難しくできているものです。

経済学科　講師　岡谷　良二

山本繁史君2011年度韓国薬剤学会ベストポスター賞受賞

薬学部

韓国薬剤学会の歴史は古く，本年11月10~11日，清州(チョンジュ)市にて第41回韓国薬剤学会年会・国際シンポジウムが開催されました．筆者の招待講演に同行した大学院博士課程2年次生の山本繁史(やまもと しげちか)君はポスターセッションに応募し，「ポリエチレングリコール修飾疎水化ポリビニルアルコールを用いたアムホテリシンB内包ナノ粒子(Polyethylene glycol modifiedhydrophobized poly (vinylalcohol) as a nanoparticle drug carrier for amphotericin B)」と題した発表をしました．本学会でも，ほとんどの研究者がかかわっているのではないかと思うほど，ナノ粒子研究は活況を呈していますが，幸運にも並みいる121題のポスター発表の中から僅か10演題に与えられるベストポスター賞に選ばれ，最終日に晴れて韓国薬剤学会から表彰状と賞金を授与されました．山本君は，ソウル大学大学院生達とも交流を深め，研究にさらなる意欲を燃やしています。



薬学部薬物動態学研究室
教授　金尾　義治

吉富教授　日本私立薬科大学協会教育賞 及び 広島県知事表彰受賞

薬学部

社団法人日本私立薬科大学協会教育賞受賞について

薬学部の吉富博則教授が，社団法人日本私立薬科大学協会(協会加盟大学57大学)から，我国の薬学教育の進歩発展に功績のあった人に授与される教育賞(吉富教授ほか他大学から4名)を受賞されました。吉富教授は，平成14年より8年間にわたり，病院・薬局実務実習中国・四国地区調整機構委員長として，旧4年制薬学教育の時代から実り多い実務実習の実現に尽力されてきました。また，6年制薬学教育のために創設された共用試験については，平成18年より共用試験センターのOSCE実施委員として新規課題の作成，モニター員の標準化，評価者や標準模擬患者の養成システム策定などに精力的に取り組み，平成21年に初めて全国で実施したOSCE本試験の事前審査体制の構築と円滑な実施への功績等が称えられたものです。授与式は平成23年11月29日に東京ガーデンパレスでおこなわれました。

平成23年度薬事功労者広島県知事表彰受賞について

福山大学薬学部は，医療薬学を標榜して昭和57年に創設され，当初は病院実習のみを必須科目としましたが，その後の医薬分業の進展に連動して，広島県薬剤師会や福山市薬剤師会と協働して全国に先駆けて平成6年から薬局実習を開始しました。この現在の6年制での薬局実習につながるシステムを薬剤師会と一緒に構築した事，更には長年に亘る広島市薬剤師会の学術担当理事として，地元薬剤師の研鑽場である「シリーズ研修」(平成13年より毎年約20回開催，主として福山大学薬学部教員が担当)を継続して開催した事など，薬学生の教育だけでなく薬剤師と大学との連携に寄与した功績が認められ，平成23年度薬事功労者広島県知事表彰を受けられました。

薬学部

学長室ブログ開設

学長室ブログが平成23年6月10日に開設されました。次のURLで閲覧できます。
http://blog.fuext.fukuyama-u.ac.jp/



学長室ブログは，初回の投稿記事から引用すれば「福山大学の日々のできごと，ふと気づいた興味深いことなどを気軽に書いていきます。」ということを目的として開設されました。記事の内容は，学長短信や学報などの再掲，大学ホームページの既存コンテンツ再利用，「広報の種」掲示板を情報源とする取材記事など多彩な内容となっていて，月に4件程度の投稿が行われています。

学長ブログではなく，学長室ブログとなっているのは，これもまた初回の投稿から引用すれば「5学部14学科の総合大学でおきる出来事について，一人では書ききれないと思いますので，数名のサポートメンバーの力を借りながらスタートします。」という理由からです。サポートメンバーがそれぞれの思いで投稿記事の内容を考え，ブログサイトへ原稿案を準備し，学長が最終的な校正・加工と公開処理を行っています。ブログという操作の容易な仕組みを利用しているため，サポートメンバーと学長は高価なソフトウェアを用意する必要もなく，また，操作方法に悩むこともなく，比較的短時間で記事作成から公開までの作業を完了させています。低コスト(手間やお金のかからないこと)とWeb即時公開というブログの特徴を活かしていると言えます。

投稿内容については，明確な編集方針等が定まっているわけではないので，福山大学にかかわる多様な内容となっています。現在(2011年11月中旬)までで閲覧数の多い投稿記事のタイトルは次のとおりです。

三蔵祭のジンクス
福山大学の教員を紹介します!
福山大学シンボルマークを公募します
三蔵祭が終わりました
どんぶりと栗
オープンキャンパスへどうぞ!
定期試験も終わり，夏
三蔵祭が始まりました
第1回マナーアップキャンペーン
地元地域との交流　～もち麦のちまき～

タイトルから投稿記事の内容を想像できるものやタイトルからは内容を想像できないものまで多彩な内容となっています。多くの投稿記事に共通ですが，サポートメンバーの原稿には学長によって多少の修正が施され，趣のある(または面白い洒落た)一言，二言が添えられています。これらの面白さもあり，1ヶ月に約2000件～3000件のアクセス(ページビュー数)となっており，アクセス数は徐々に増えているという状況です。開設から約6ヶ月を経過し，福山大学関係者によるブログとしては後発ですが，主要な検索エンジンでキーワードを「福山大学　ブログ」として検索すれば上位にリストアップされるようにもなっています。学長室ブログを未読の方は，学長短信(福山大学ホームページでバックナンバーも閲覧可能)と学長室ブログを同時に読み比較することで，趣の異なる学長像をイメージできるのではないかと思います。

新しい試みである学長室ブログは福山大学の広報について検討する過程でインターネット活用の方法の一つとして若手教員から提案されたものです。広報委員会で検討の後，ホームページ部会長へブログ執筆者やブログサービスの選定等の運用に関する依頼があり，ホームページ部会長がブログ編集の取り纏め役となっています。

インターネットの仕組み等に詳しくない方々には理解しにくい内容ですが，学長室ブログは学外のブログサービスを利用しています。この学外サービスにfukuyama-u.ac.jp(福山大学のドメイン名)を使ったblog.fuext.fukuyama-u.ac.jpを割り当てています。このような利用方法は福山大学としては前例がなかったようですが，ICTに詳しい若手教員の提案を基に関連の教員で検討し，情報処理教育センターなどの協力により実現しました。ドメイン名の効果とサポートメンバーの努力による定期的な投稿によって 学長室ブログはインターネット検索エンジンによって福山大学の良質なコンテンツの一つと見なされ始めています。

ホームページ部会長
メディア情報文化学科　教授　田中　始男

マナーアップキャンペーン

キャンパスの美化活動を通じて学生のマナーの向上を目指す取り組みとして，2回の「マナーアップキャンペーン」を今年度実施しました。この活動は，これまで取り組んできたキャンパス美化活動をさらに進めたもので，このような大規模な活動に発展したのは今夏に行われたキャンパス内のゴミ箱や喫煙場所の整備が発端です。このようなハード面の整備に合わせて，ソフト面すなわち学生や教職員のマナーを向上させることが，キャンパス内の環境改善に必要と考えました。さらに，マナーについての教育・指導を強化することで，社会人として必要な人格的成長を促すとともに，学生の人間力の向上を目指しました。

第一回の「マナーアップキャンペーン」は，7月4日(月) ～7月9日(土)の期間に“学内美化”と“喫煙マナーの向上”をテーマに活動しました。さらに，11月14日(月) ～11月18日(金)の期間に実施した第二回では，これらのテーマに加えて“あいさつ運動”を活動内容に加えました。これらの取り組みにより，学生たちの日々の態度に少しずつ変化が見られるようになり，施設の整備と相俟ってキャンパス内は以前よりずいぶんきれいになりました。ゴミが片付けられ，タバコのポイ捨てが減り，さらに大学のすべての人が互いにあいさつをするという最も基本的な習慣の大切さを理解するきっかけとなりました。もちろん，たった2回のキャンペーンだけでこのような生活習慣を十分に身に付けることはできません。そのため，今後もこの活動を続けていくことで，社会の常識をしっかりと身につけた人材の育成に努めたいと思います。





これまでの活動にご参加いただいた方々には心から御礼申し上げます。この取り組みはまだ始まったばかりで，十分な成果を上げるのにはもう少し時間がかかります。これからもご協力をよろしくお願いいたします。

学生委員長
生命栄養科学科　教授　菊田　安至

福山大学・福山地区消防組合西消防署合同消防訓練の実施

秋の火災予防運動に合わせ，11月11日(金)15:00に震度6強の地震が発生し，34号館の2階研修室より出火したとの想定で，福山大学(薬学部教職員)と福山地区消防組合西消防署との合同による消防訓練が実施されました。薬学部教職員が避難誘導・初期消火・通報連絡班に分かれて訓練を行いました。大学の訓練終了後，引き続き2階研修室の延焼拡大，2・3階各1名の要救護者がいる想定で福山西消防署の訓練が行われました。合同訓練終了後，水消火器を使用した消火訓練も実施し，消防設備の使用方法について学びました。今回の訓練を通して，日々の防災・防火意識及び消防訓練がとても重要であると再認識しました。今後も引き続き他の学部による消防訓練を実施し，常日頃から防災・防火の意識を高めてもらいたいと考えています。

施設課











福山大学体育館改修工事完成

平成23年7月から施工を開始した体育館の改修工事が完成しました。アリーナの天井を撤去し，照明器具を省エネタイプに更新。床は，体育館用木製スポーツフロアに改修しました。併せて男女WC・シャワー室も器具から一新し，リニューアルしました。洗面・シャワーは，温水が出るようになり，冬の時期でも快適に利用できるようになりました。また，ロッカー室もパウダールームを兼用したタイプに改修しました。

多くの学生の利用を望んでます。

施設課









国際交流瓦版

◎平成23年度新入生対象の広島地域視察ツアーを実施。日本人学生3名と共に留学生29名が足立浩一国際センター留学生部運営委員長引率のもと，世界遺産の宮島，原爆ドームを見学。 (6月11日)

◎広島県日中親善協会主催「日中親善に関する発表会及び懇親会」に本学から冨士彰夫副学長と共に周洪宇さん（国際経済　3年　中国出身）ら2名の留学生が出席し，日中友好交流。 (7月5日)

◎アメリカの協定校，カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)へ松本静夫教授引率のもと，平成23年度夏季集中英語研修生として，滑川初さん（税務会計　4年）ら10名（福山平成大学学生2名含）が1ヶ月の短期留学。 (8月6日～9月4日)

◎平成23年度後期から（独）日本学生支援機構，留学生交流支援制度（短期派遣）の奨学金を得て，UCRへ松岡剛志さん（国際経済　3年）が8月6日から半年留学。 (8月6日)

◎広島県留学生活躍支援センター主催「平成23年度実用日本語研修」が福山地区では本学社会連携研究推進センターで開催。本学から7名の留学生が参加し，県内企業への就職に必要とするビジネス日本語能力向上のため，6日間，受講。当研修修了者はJ.TESTを無料で受験できるほか，インターンシップやホームスティを体験。 (8月22日～9月2日)

◎張煜彧さん（経済 3年 中国出身）が広島県日本語高等研修事業夏春集中プログラム研修生として広島県立広島国際協力センターで大学院での研究活動に必要とする高度な日本語の学修60時間にチャレンジ。 (9月5日)

◎福山市立駅家小学校で張煜彧さん（経済 3年 中国出身）が中国の民話紹介について講義。 (9月14日)



◎平成23年度前期卒業式が挙行され，経済学部2名，人間文化学部1名の留学生が卒業。 (9月15日)

◎鍵川充昭さん（国際経済　4年）が中国の協定校，対外経済貿易大学へ孔子学院の奨学支援を得て，9月16日から半年留学。 (9月16日)

◎中国の協定校から，平成23年度後期から1年間，人間文化学部人間文化学科へ上海師範大学からの初の交換留学生，陸怡さん，経済学部経済学科へ対外経済貿易大学から黄一丁さん，2名を受入。 (9月16日)

◎中国の協定校から，編入生18名，交換留学生2名の本学への平成23年度後期入学に際し，新入生歓迎会を開催。歓迎会では松田文子学長，松浦史登副学長，岡崎文憲副学長ほか多数の教職員や学生達が出席し，和やかな歓迎の宴。新入生達は日本と母国との架け橋になりたいとスピーチ。 (9月20日)



◎Panayotova P. Zlatozarovaさん（人間文化　交換留学生　ブルガリア出身）が福山市立東村小学校において母国ブルガリアの地理・文化等について，国際理解教室講師。 (9月26日・10月21日)

◎ふくやま国際交流協会主催「インターナショナル秋祭りスポーツ大会」が福山市立南小学校で開催され，Panayotova P. Zlatozarovaさん（人間文化 交換留学生 ブルガリア出身）が選手宣誓。本学から，留学生のみならず，日本人学生を含め，43名の学生が参加し，グランドゴルフ，パン食い競争，大縄跳びでスポーツ交流。 (10月2日)

◎アメリカの協定UCRから，Karen Diamond氏が来学し，学長を表敬訪問。「UCRでの国際教育プログラムについて」講演。平成23年度夏季集中英語研修修了証書授与式ならびに国際センター国際交流部運営委員会にオブザーバーとして出席し，本学とUCRとの今後の交流の在り方について意見交換。 (10月14日)



◎広島県留学生活躍支援センター主催「外国人留学生のための就職活動入門セミナー」が広島県民文化センターで開催され，本学留学生のOGとして，㈱中栄トラベル旅行部に勤務している，于秀英さん（国際経済平成21年度卒業，中国出身）が体験談を発表。 (10月15日)

◎福山市立宣山小学校で子ども国際教室講師としてMuthoni Eric Muneneさん（国際経済 3年 ケニア出身）が母国ケニアの挨拶や文化等について講義。 (10月18日)

◎国際センター国際交流部運営委員会主催「第9回広島県東部高校生英語スピーチコンテスト」を開催。福山暁の星女子高等学校 2年 田上実希さんが*Dangers in the Rice Paddies*の演題でスピーチし，大賞受賞。大賞受賞者には，アメリカ協定校UCRからサマーコース授業料の奨学金等を授与。 (10月22日)

◎第37回三蔵祭では，留学生会が水餃子，焼き饅頭，ゴマ団子の模擬店を出店し，好評。 (10月22日～23日)

◎国際センター留学生部運営委員会・留学生会・孔子学院共催で，第2回日中学生交流クイズ大会を開催。日本人学生と留学生が3人1組でクイズを解きながら，日中異文化交流 (10月23日)

◎国際センター国際交流部運営委員会主催「第18回日本語・英語スピーチコンテスト」を開催。李氷さん（国際経済 3年 中国出身）が，演題「痛みを負いながら生きていく」のスピーチで日本語の部，最優秀賞受賞。江珊さん（国際経済 3年 中国出身）は，演題*Beautiful World*のスピーチで英語の部，最優秀賞受賞。 (10月23日)



◎国際センターにおいて，国際経済学科3年生ら4名の日本人学生がチューター制度により，10月25日から3カ月間，留学生の日本語学習支援。 (10月25日)

◎広島県留学生活躍支援センター主催，3回にわたる，「外国人留学生のための就職活動実践セミナー」に就職希望の本学留学生13名（福山会場11名，東広島会場2名）が申込。当セミナー参加者は，専門のキャリアコンサルタントによる個別就職指導を受けることができる。 (10月29日・11月5日・11月12日)

◎財団法人熊平奨学文化財団奨学生との交流会に足立浩一国際センター留学生部長と共に，張艶慧さん（国際経済　4年）ら2名の当該奨学生が出席。 (10月31日)

◎平成23年度私費外国人留学生学習奨励費給付制度により追加受給者として，張潤蘇さん（人間文化 3年）ら4名の奨学生が採用決定。 (11月2日)

◎中川美術館で李樹人さん（税務会計　研究生　中国出身）が琵琶とサックスを演奏し，日中友好の音色で魅了。 (11月11日)

◎国際センター主催，備北丘陵公園・帝釈峡散策ツアーに趙建紅講師，李森客員教授が引率し，36名の留学生が参加。日本の自然を散策し，サイクリング，スポーツ交流。(11月12日)

（学務部　国際交流課）

アメリカ体験記

私は，中学生の頃から海外に興味を持っており，いつか行ってみたいと強く思っていました。また，外国語を学ぶということにも興味があり，留学することにずっと憧れていました。そして今年，その夢が叶いました。

留学をするにあたって，準備がすごく大変でした。パスポートやビザの申請やI−20の取得などすることがたくさんありました。今年は入学希望者が多かったらしくUCRからの書類が届くのが遅く，ぎりぎりまで準備に時間がかかりました。

準備がすべて終わって，出国の日。初めて日本から海を越えて外国へ行くことに，すごく興奮しました。10時間以上飛行機の中でしたが，客室乗務員の人や，他の乗客も日本人ではなかったので，もう外国に来た気分で楽しかったです。

長い空の旅を終えて，ついにアメリカ上陸。当たり前ですが，周りは英語を話す人ばかりで，案内板や看板も全部英語表記で，アメリカに来たということを実感しました。





アメリカに着いてすぐ，UCRに向かい，ホームステイについての簡単な注意事項の説明のあと，これからお世話になるホストファミリーの家に行きました。うちは，お母さん，お父さん，娘さん，孫（2人）でした。

ファミリーごとに，それぞれハウスルールがあり，“シャワーは5分以内”，“洗濯は週一回”，“シャワーは10時まで”などさまざまでした。普通の生活でも日本とアメリカとでは異なることが多々あったので，慣れるまで大変でした。

滞在中，平日は学校に通いましたが，そこでの生活も大変でした。最初は先生が何を言っているのか全く分かりませんでした。すごく早口だし，省略されている音とかあって，全然，聞き取れませんでした。でも，周りの他の学生はちゃんと理解していて，周りを見て行動することが多く，初めのころは不安でいっぱいでした。それでも，他の学生さんが親切にいろいろなことを教えてくれて，少しずつですが，話せるようになって，外国のことを聞いたり，日本のことを紹介したりできて楽しかったです。

休日はオプショナルトリップに参加し，ディズニーランドやユニバーサルスタジオなどのアミューズメントパークやディズニーシーに出かけました。滞在期間が短かったので，あまり多くの場所には行けませんでしたが，どれもいい思い出になりました。



一か月間，アメリカで生活してみて，物のサイズや周りの風景，食文化など，日本とはだいぶ異なっていて，驚くことばかりでした。異文化を，TVを通してではなく，直接肌で感じることができ，とてもいい経験になりました。また，一日中，英語に触れることができ，初めて知ったこともあったし，聞き取りの技量など，少しは成果があったのではないかなと思いました。また，ホストファミリーの人達と会話したり，毎日学校に通う中で会話したりして，最初は全然聞き取れなかったけれども，少しずつ相手の言いたいことが理解できるようになって，それを実感することができたのが何より嬉しかったです。こんな長期間，アメリカに滞在することはこの先難しいと思うので，本当に行ってよかったと思います。長期間は無理でも，また機会があったら，アメリカに行きたいと思っています。

最後に，お世話になった先生方，関係者の皆様，本当にありがとうございました。

薬学部　2年　村上　澄珠

学友会短信

【サッカー部】
- 4月24日〜10月30日　2011年度中国大学サッカーリーグ　優勝　第60回全日本大学サッカー選手権（インカレ）出場決定
- 6月18日〜10月22日Iリーグ中国2011　第5位
- 5月8日〜10月23日　第10回広島県社会人サッカーリーグ（1部リーグ）第5位
- 6月18日，11月3日　サンフレッチェ広島ファミリーサッカースクールin福山大学
- 7月30日　第3回福山市青少年健全育成フットサル大会（健全トーナメントの部）優勝
- 11月8日　福山市長表敬訪問（全国大会出場報告）
- 11月23日　JFA（日本サッカー協会）キッズサッカーフェスティバル
- 11月27日　第57回松永地区一周駅伝大会（一般の部）優勝　区間賞　2区　瀬川大（経済2年）　5区　佐々木優（経済1年）　6区　昌子健生（経済1年）

【硬式野球部】
- 7月1日　第25回広島国際親善野球大会　4名選抜出場
- 9月3日〜10月22日　平成23年度中国六大学野球秋季リーグ戦　優勝　最高殊勲選手賞　津田純一（経済2年）投手　ベストナイン成廣築（経済3年）一塁手　木村真登（経済1年）二塁手　峠森友希（経済3年）三塁手　國近幹司（経済3年）外野手
- 11月8日　福山市長表敬訪問（全国大会出場報告）
- 11月24日　明治神宮外苑創建85年記念第42回明治神宮野球大会出場

【陸上競技部】
- 6月25日　第65回広島県陸上競技選手権大会出場
- 7月15日　秩父宮賜杯第64回西日本学生陸上競技対校選手権大会出場
- 9月8日　天皇賜杯第80回日本学生陸上競技対校選手権大会出場　10000mw廣藤耕一（経済2年）
- 10月14日〜16日　第34回中国四国学生陸上競技選手権大会　10000mw優勝　廣藤耕一（経済2年）5000m及び1000mともに第2位　村田総（建築・建設3年）

【剣道部】
- 8月27日　中四国学生剣道優勝大会出場
- 11月3日　天野杯剣道選手権大会（兼第23回福山市長杯）　団体戦　第3位　個人戦（女子）準優勝　谷口桃子（経済1年）
- 11月20日　第5回広島県学生剣道選手権大会出場

【空手道部】
- 9月11日　第49回中四国空手道選手権大会出場
- 11月20日　第55回全日本大学空手道選手権大会出場

【水泳部】
- 9月1日　第87回日本学生選手権水泳競技大会出場　飛込競技　藤井誠也（建築・建設4年）
- 9月6日　第66回国民体育大会水泳競技大会出場　飛込競技　藤井誠也（建築・建設4年）

【弓道部】
- 8月9日　第59回全日本学生弓道選手権大会出場
- 8月27日　第18回弦道大会開催
- 9月15日　第37回広島県学生弓道男女リーグ戦出場

【バスケットボール部】
- 4月16日〜7月10日　広島県学生バスケットボール選手権大会春季リーグ戦出場
- 9月10日〜11月27日　広島県学生バスケットボール選手権大会秋季リーグ戦出場

【男子バレーボール部】
- 10月15日〜16日　第74回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会出場
- 11月12日〜13日　第11回広島県大学バレーボール大会出場

【硬式庭球部】
- 7月16日〜17日　広島県学生庭球選手権大会出場
- 8月13日〜16日　夏季中国四国学生テニス選手権大会出場
- 9月5日〜9月8日　平成23年度全日本大学対抗テニス王座決定試合中国四国地区大会出場

【軟式野球部】
- 11月7日〜11日　平成23年度西日本地区学生軟式野球秋季Ⅱ部リーグ出場

【ソフトテニス部】
- 10月13日〜16日　第60回中国・四国学生ソフトテニス選手権大会出場

【ゴルフ部】
- 7月12日〜13日　第35回中四国学生ゴルフ選手権大会出場
- 11月17日〜18日　第32回中四国学生ゴルフ新人戦

【実戦空手道部】
- 11月20日　第17回全日本大学オープン選手権大会敢闘賞　大石智絵（経済1年）

【卓球部】
- 8月22日〜24日　第62回中国学生卓球選手権秋季大会出場

【ボート部】
- 8月7日　第29回芦田川兼第18回アジア大会記念市長杯競漕大会出場
- 11月13日　第21回芦田川ロングレース出場

【吹奏楽部】
- 8月14日　広島16大学吹奏楽の夕べ出演
- 8月21日　第18回ふれあい音楽祭出演
- 10月23日　第37回三蔵音楽祭
- 11月19日　じばさんフェア2011にて演奏

【管弦楽団】
- 7月9日　第9回わいわいフェタまつながにて演奏
- 7月16日　福山大学人間文化学部コンサート2011にて演奏
- 10月23日　第37回三蔵音楽祭

【演劇部】
- 10月23日　第20回福山大学演劇部公演

【三蔵太鼓を打つ会】
- 10月11日　福山大学体育館リニューアルオープンセレモニーにて演奏
- 11月19日　じばさんフェア2011にて演奏

【ユースホステル部】
- 8月18日〜20日　2011サマーキャンプ

【YRC部】
- 5月29日，7月31日　芦田川リバーサイドウォーキング
- 6月12日，7月10日，8月14日，11月13日　クリーンウォーキングin　MATSUNAGA
- 6月26日，7月24日，8月28日，10月30日，11月27日　クリーンウォーキング in FUKUYAMA
- 7月9日　第9回わいわいフェスタまつなが
- 8月5日　障害小学生のためのサマー・スクールボランティア
- 8月21日　24時間テレビ募金活動へ参加
- 9月18日　広島県東部地区親善スポーツ大会（身障者競技ボランティア）
- 9月18日　第18回ゲタリンピック2011
- 10月8日　fukuyama art walk　2011

【執行部】
- 7月5日　七夕祭り（学内）
- 7月26日　陸上競技部壮行式
- 8月28日　夏の献血キャンペーン（街頭活動）へ参加
- 9月18日　第18回ゲタリンピック2011
- 10月8日　fukuyama art walk 2011
- 10月21日　平成23年度秋季学長杯争奪競技大会（ソフトボールの部，3on3の部）
- 10月31日　硬式野球部，サッカー部リーグ優勝報告会
- 11月18日　学内秋季献血活動
- 11月10日　空手道部壮行式
- 11月22日　硬式野球部壮行式（JR福山駅にて）
- 11月24日　神宮野球大会への応援団（ダンス部，吹奏楽部，管弦楽団他）

【三蔵祭運営委員会】
- 10月21日〜23日　第37回三蔵祭「歩（あゆみ）〜踏み出すとき〜」

（学務部　学生課）

全日本大学サッカー選手権出場!

5年ぶり7回目のインカレは力の差を痛感した“完敗”でした。12月18日に鴻巣市陸上競技場で行われた全日本大学サッカー選手権1回戦，対専修大学は残念ながら2−9で敗れました。関東チャンピオンの壁は厚く，福山大学の良さを全く出させてもらえませんでした。ただ選手達は最後まで必死に戦ってくれたと思います。当日は理事長をはじめ多くの大学関係者の皆様に応援していただきました。本当に感謝いたします。この経験をバネに来年必ずリベンジいたします。ご声援ありがとうございました。

福山大学サッカー部監督
経済学科　准教授　　吉田　卓史







第42回明治神宮野球大会出場

硬式野球部は第42回明治神宮野球大会に出場し，11月24日第3試合で東京六大学代表明治大学と対戦，7回コールド負けを喫しました。今大会で優勝した明治大学との対戦からは学ぶことが多く，選手はこの経験を活かし，春のリーグ戦優勝を目指して再スタートを切っています。

明治神宮大会出場にあたり　多くの皆様にご支援・ご声援をいただき本当にありがとうございました。これからも応援よろしくお願いいたします。

福山大学硬式野球部長
国際経済学科　准教授　足立　浩一







天皇賜盃 第80回日本学生陸上競技対校選手権大会10000m競歩に出場

本学学友会陸上競技部の廣藤耕一君（経済学部2年）が，9月9日（金）に熊本で開催された天皇賜杯 第80回全日本学生陸上競技対校選手権大会で10000m競歩に出場しました。15時20分スタートの非常に暑い中でのレースでしたが46分44秒74の記録で歩きました。順位は28位で，彼のランキングから考えるとよい成績と思っています。

彼は，10月の中国四国学生陸上競技選手権でも優勝しました。24年3月には第6回日本学生20km競歩選手権大会への出場も予定しております。

陸上競技部顧問
税務会計学科　准教授　鶴崎　健一







第87回日本学生選手権水泳競技大会と第66回国民体育大会水泳競技大会に4年連続で出場

工学部建築学科の 4 年生藤井誠也君が，平成 23 年度 9 月に開催された「第 87 回日本学生選手権水泳競技大会　飛込競技（3m飛板飛込，高飛込）」（新潟県長岡市）と「第 66 回国民体育大会水泳競技大会　飛込競技（成年男子飛板飛込，高飛込）」（広島市）に出場しました。1 年生から両大会とも 4 年連続で出場していますが，今年は 10 位以内に入ることができませんでした。1 年生の時には国体（高飛込）で 5 位に入賞したこともあるほどの実力を持っており，来年は社会人での国体入賞を狙っています。

水泳部顧問
経済学科　准教授　小林　正和



第55回全日本大学空手道選手権大会に出場!



— 愛知大学に敗退し，初戦突破ならず —

本学学友会空手道部が平成23年9月11日に広島工業大学で開催された中四国大学空手道選手権大会において2回戦で敗退しましたが，奮起して敗者復活戦で勝ち上がり，11月20日に大阪市中央体育館で行われる第55回全日本大学空手道選手権大会への出場資格を勝ち取りました。全国大会への出場は久しぶりでしたが，残念ながら初戦で愛知大学に2−3で惜敗しました。応援を頂いた教職員，学友の皆様には心より感謝いたします。

なお，大会で活躍した右田逸一副将（経済学部経済学科2年生）が12月10日（土）に日本武道館で開催される第39回全日本空手道選手権大会に島根県代表選手として推薦されました。健闘を祈ります。

空手道部顧問
建築・建設学科　教授　中山　昭夫

第59回全日本弓道選手権大会に男女とも出場!









本学学友会弓道部が平成23年8月9日（火）～ 12日（金）にグリーンアリーナ神戸で開催された第59回全日本弓道選手権大会に男女とも出場しました。

この大会は，一人，4つ矢（よつやひとたち）一立でのチーム合計を競います。予選を通過するかどうかがたった4本の矢で決まるため，メンバー一人ひとりにかかる緊張は計り知れないものがあります。

学生は，「緊張感をいかにコントロールできるか」，「自分の射形を見失わないか」，「中（あた）りを求めていけるか」を意識しながら，4本の矢を射ります。

どのスポーツでも，大会に出場すると緊張は必ず伴ってきますが，その緊張の中でもいかに自分の射形ができるかが，メンバー一人ひとりのこれからの課題だと認識したようです。

弓道部顧問
情報工学科　助教　片桐　重和

入試広報室から

◆入試説明会

高校進路指導担当者を対象に，福山大学および福山平成大学の入試説明会を6月13日から17日まで，各地の12会場で開催しました。高校からの参加者は，120校126名でした。

◆大学参観を兼ねた入試説明会

9月16日，福山大学および福山平成大学の大学参観を兼ねた入試説明会を合同開催しました。参加教員の事前希望であった両大学の施設・設備の見学後，福山市内のホテルで両大学の入試説明，質疑応答が行われました。参加者は，11府県44校52名でした。

◆進学相談会（業者主催）

業者主催の進学相談会において，本年度は広島など21都市41会場で高校生・保護者・教員，総計687名の進学相談に応じました。

◆見学会・体験入学会

毎年恒例の見学会を7月9日，9月24日（台風12号の影響により延期して開催），体験入学会を7月24日，8月20日に開催しました。見学会の参加者は7月9日は高校生93名，保護者68名，計161名，9月24日は高校生75名，保護者41名，計116名でした。体験入学会の参加者は7月24日は高校生393名，保護者214名，計607名，8月20日は高校生340名，保護者151名，計491名でした。福山平成大学においても，7月2日，9月10日に見学会，7月30日，8月27日に体験入学会を開催しました。見学会の参加者は7月2日は高校生76名，保護者29名，計105名，9月10日は高校生60名，保護者28名，計88名でした。体験入学会の参加者は7月30日は高校生267名，保護者93名，計360名，8月27日は高校生196名，保護者67名，計263名でした。

◆高校PTA・教員・生徒の本学訪問

4月下旬から福山大学および福山平成大学への訪問は，高校14校691名でした。

平成24年度前期入試A日程〔特別奨学生A選抜含む〕

	福山大学	福山平成大学
試験のある学部	経済学部・人間文化学部・工学部 生命工学部・薬学部	経営学部・福祉健康学部・看護学部
出願期間	1月5日（木）～1月26日（木）消印有効	
試験日	1月31日（火）～2月3日（金）※試験日自由選択制	
合格発表日	2月8日（水）	
試験地	1/31 ～ 2/3　福山（福山大学・福山平成大学）・広島・山口・福岡・岡山	
	1/31　鳥取・宮崎・京都　　2/1　米子・大分　2/2　熊本・静岡	
	2/3　佐賀・神戸・名古屋　1/31・2/1　松山・高松・鹿児島・東京	
	2/2・2/3　今治・松江・高知・小倉　2/1・2/2　大阪	

同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。同窓生・在学生入学金減免制度とは，福山大学の同窓生の子弟および在学生の兄弟に対して，就学時の経済的支援のため，入学金を減免する制度です。同窓生の子弟および在学生の兄弟とは，入学者の親，兄弟，姉妹のいずれかが福山大学および兄弟校である福山平成大学の卒業生又は在学生（留学生は除く）です。詳細については，福山大学の入試広報室までお問い合わせ下さい。

後援会情報　福山大学後援会役員会（理事会）開催される！

三蔵祭（大学祭）期間中の10月22日（土）の11時から福山大学後援会役員会（理事会）が19号館1921教室で開催されました。

佐藤後援会長，松田学長の挨拶に続いて会長・副会長・監事・理事が自己紹介を行い，その後，8月中旬から9月上旬に全国14会場で開催された後援会地区別総会の報告がありました。

総務部　庶務課



挨拶する佐藤後援会長



役員会の様子

藤岡照夫先生のご逝去を悼んで

平成23年10月10日死去

藤岡先生は，広島大学理学部助手を経て，平成16年に福山大学人間文化学部環境情報学科助教授として赴任され後，平成19年に経済学部国際経済学科准教授に転属されました。国際経済学科で献身的にご活躍され学科教員一同感謝しておりました。

藤岡先生について最も印象に残っているのは，経済学部内の「卒業論文委員」の責任者として活躍されてきたことです。卒業生全員の卒業論文をチェックするという大変な作業に誠実に手堅く取り組んでおられました。藤岡先生のご尽力のお陰で経済学部学生の卒業論文の質が飛躍的に改善されました。

9月初旬にお見舞いした折には，酸素吸入を装着しており会話するのも苦しそうな状態でしたので，その時には早々においとませざるを得ませんでしたが，これほど早く訃報に接するとは予想しておらず，悲しみに堪えません。先生の御冥福を心よりお祈りいたします。

経済学部　教授　尾田　温俊

濃野隆之先生のご逝去を悼んで

平成23年10月25日死去　享年92歳

濃野先生は，広島文理科大学をご卒業され，福岡教育大学教授を経て，昭和58年に福山大学教養部教授として赴任されました。その後，教養部長や学生委員長，人間科学研究センター長を歴任され，平成5年に経済学部に転属されました。また第一線を退かれた後も特任教授，客員教授として本学経済学部教育のためにご尽力されてきました。福岡教育大学と福山大学の名誉教授であり，平成8年には勲三等瑞宝章を受章されております。

私は，一時期，濃野先生にお願いして数理経済学の手ほどきをしていただいたことがありました。濃野先生は数式の展開を丁寧にフォローし，それをレポート用紙に整理され，私に手渡されるのが常でした。訃報に接して，当時頂いたレポート用紙を取り出して見ましたが，改めて誠実な先生のお人柄が偲ばれます。

濃野先生がお亡くなりになり哀悼の意を表し御冥福を心よりお祈りいたします。

経済学部　教授　尾田　温俊

編集後記

学号130号では、第37回三蔵祭、じばさんフェア2011、福山大学リレー講座、宮通りファッションショーなどを取り上げました。いずれの内容も活き活きと活動する本学の学生や教員の様子がよく反映されていると思います。また、福山大学・福山地区消防組合西消防署合同消防訓練の実施で、本学が防災に取り組んでいることも紹介できたと思います。

発行　福山大学
編集　福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111　FAX(084)936-2213
http://www.fukuyama-u.ac.jp